

学習指導案 L^AT_EX 2_ε スタイルファイル 仕様書

MIZOGUCHI Koki*

2022 年 8 月 29 日

ファイル情報

スタイルファイル名
TeachersGuide.sty
制作者
溝口 洸熙

LICENSE
MIT License
更新・問題
<https://github.com/MIZOGUCHIKoki/LaTeX-StyleFile>

コマンド

<code>\tptwidth</code>	tpf 列の幅設定	<code>tpt</code>	指導案表の 1 列目のヘッダ文字列
<code>\tpswidth</code>	tps 列の幅設定	<code>tps</code>	指導案表の 2 列目のヘッダ文字列
<code>\tptwidth</code>	tpt 列の幅設定	<code>tpt</code>	指導案表の 3 列目のヘッダ文字列
<code>\GuidlineTitle</code>	学習指導案 と入力		

`\showTitle`

タイトル・指導教員名・指導科目名を印字する。第一引数に指導教員名，第二引数に指導科目名を渡す。

入力例

`\showTitle{ (指導教員名) }{ (指導科目名) }`

出力例

学習指導案

2022 年 8 月 29 日 更新
指導教員 (指導教員名)
指導科目 (指導科目名)

* Kochi Univeristy of Technology

環境

TeachingProcedures

指導案表の枠を設計する。この環境は `longtable` 環境を用いて構築している。従って `tabular` 環境同様、列の区切りは `&` を用い、行の区切りは、`\\` で行う。

ヘッダの部分^{*1}は、それぞれ括弧内のコマンド^{*2}で定義しているので、変更したい場合は、適宜 `\renewcommand` ^{*3}で更新する。

tpfcol,tpscol,tptcol

`tpf`, `tps`, `tpt` の列に対して、`tpfcol`, `tpscol`, `tptcol` の環境下で編集を行う。これらは、`minipage` 環境を用いて構築している。

活動 (tpf)	指導内容 (tps)	指導上の留意点及び評価 (tpt)
<code>\begin{tpfcol}</code>	<code>\begin{tpscol}</code>	<code>\begin{tptcol}</code>
<code>\end{tpfcol} &</code>	<code>\end{tpscol} &</code>	<code>\end{tptcol} \\</code>

*1 デフォルトでは、活動・指導内容・指導上の留意点及び評価

*2 `tpf`, `tps`, `tpt`

*3 「活動」を「活動内容」に変更したい場合は、`\renewcommand{\tpf}{活動内容}`

作成例

```
\documentclass{jlreq}
\usepackage{TeachersGuide}
%%%%%%%%%%%%%%
%任意のパッケージ・設定
%%%%%%%%%%%%%%
\begin{document}
% タイトル出力
\showTitle{溝口 洸熙}{数学}
% 表の出力
\begin{TeachingProcedures}
  % 1列目の内容
  \begin{tpfcol}
    \textbf{導入}\\
    しっかり復習
  \end{tpfcol} &
  % 2列目の内容
  \begin{tpscol}
    展開の復習
    \begin{equation}
      \begin{aligned}
        f(x) &= (x-p)^2-q \\
        &= x^2-2px-q
      \end{aligned}
    \end{equation}
    \label{eq:ex1}
  \end{tpscol} &
  % 3列目の内容
  \begin{tptcol}
    展開の計算(\ref{eq:ex1})が理解できるか.
  \end{tptcol}
\end{TeachingProcedures}
\end{document}
```

学習指導案

2022 年 8 月 29 日 更新

指導教員 溝口 洸熙

指導科目 数学

活動	指導内容	指導上の留意点及び評価
導入 しっかり復習	展開の復習 $f(x) = (x-p)^2 - q$ $= x^2 - 2px - q$ (1)	展開の計算 (1) が理解できるか.